

令和2年度 研究の概要

1 研究主題

一人一人の主体的な学びを育む学習展開の工夫
～自ら求めて学ぶ姿を目指して～

2 主題設定の理由

本校では平成29年度から「一人一人の主体的な学びを育む学習展開の工夫」を研究主題とし、新学習指導要領のキーワードである「主体的な学び」を求めて、主体的な学びを支える「問題解決に関わる資質・能力」と、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」とのつながりを意識した「追小学びのプロセス」に沿った実践を積み重ねてきている。

子どもの側に立ち、これから展開する学習活動に必然性や必要感があるかを見直すことにより、「新しいめあてや問題を解いてみたい」「難しいめあてや問題でもあきらめずに考える」など、新たな課題に関心をもち、粘り強く取り組もうとする子どもが増加してきた。しかし、「思考が深まる学び合い」と「言葉の質と量の向上」の二つの柱に基づく取組では、個の思考と集団の思考を往還しつつ一人一人の考えが深まるような双方向の学びとなっていたか、子ども自身が学んだことや身に付いた力を自覚していたかという点において課題が残った。

今年度は、育てたい資質・能力を明確にし、資質・能力と学習内容、活動をつなぐカリキュラムデザインを基に単元の位置付けやねらいを捉えるとともに、ねらいにせまる言語活動と手立てを吟味し、目指す姿を具現化していきたい。学びのつながりが強く自覚されることによって、教科の学びがより確かなものになると同時に、教科の枠を越えた汎用的な力が育成されるのではないだろうか。一人一人が課題意識をもち、解決に向けて他と関わりながら粘り強く追究する試行錯誤のある学習展開を生み出すことが、学びに価値を見だし自ら求めて学ぶ子どもの姿につながるものと考えている。

3 目指す子どもの姿と育てたい資質・能力

自ら求めて学び、他と関わりながら粘り強く学びに向かう子ども

問いを発する力

既得の知識及び技能、体験から問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決する力

考えを伝え合う力

論理的な思考により形成した自分の考え(思いや意図も含む)を目的や場面、状況に応じて適切な表現方法で伝え合う力

学びの価値に気付く力

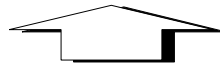
各教科等の見方・考え方を働かせた学びや教科等横断的な学びを通して、学びのよさやおもしろさを感じ、価値付ける力

4 研究の仮説

学びのつながりを意識した「追小学びのプロセス」の実践を通して、問題解決能力の向上と学びの深まりを実現する学習展開を工夫することにより、自ら求めて学び、他と関わりながら粘り強く学びに向かう子どもに育つのではないかと仮説を立てている。

5 研究の全体構想

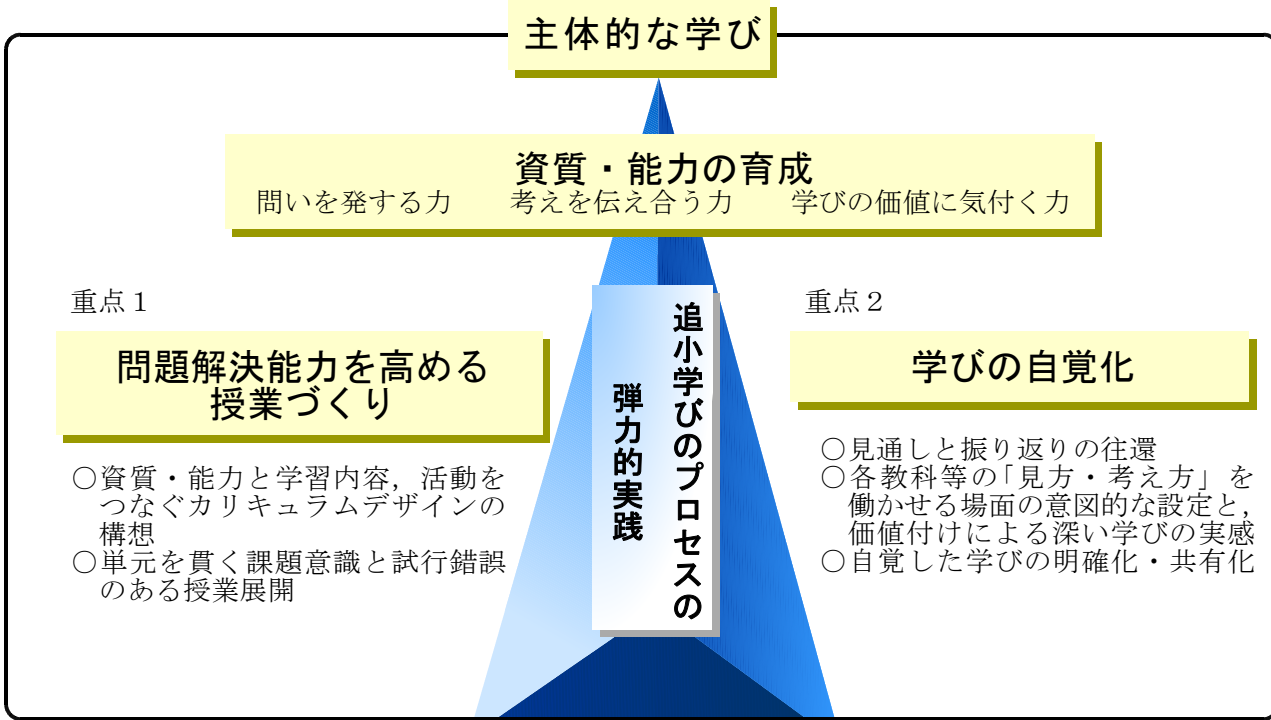
＜学校教育目標＞
夢に向かって ～ 笑顔 本気 思いやり ～



研究主題 一人一人の主体的な学びを育む学習展開の工夫
 ～自ら求めて学ぶ姿を目指して～

研究の仮説 学びのつながりを意識した「追小学びのプロセス」の実践を通して、問題解決能力の向上と学びの深まりを実現する学習展開を工夫することにより、自ら求めて学び、他と関わりながら粘り強く学びに向かう子どもに育つのではないか。

目指す子どもの姿 自ら求めて学び、他と関わりながら粘り強く学びに向かう子ども



学びの基盤づくり

言葉の質と量を高める

- 言語事項の重点的な指導「言葉のスキルアップ」の継続
- 新聞活用と読書活動の推進
- 辞書の自主的活用
- 言語環境の整備
 - ・ 一日一語
 - ・ 学習の足跡

心を耕す

- 「考え，議論する道徳」の充実
- 自己有用感を育てる学級活動
- 豊かな体験活動
 - ・ 子ども主体の縦割り活動
 - ・ 地域素材を生かした生活科・総合的な学習の時間

学びを支える

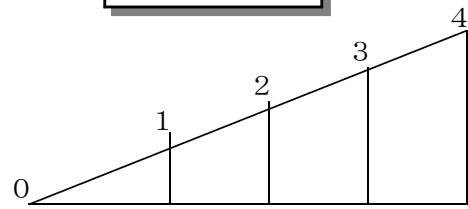
- 「追小10のきまり」の徹底
- 教科の特性や発達段階に合わせた「思考の方法と言葉」「受けてつなぐ言葉」の指導
- 授業と家庭学習のサイクル化

深い学びをつくるために

話し方の基本

- わたしは・・・だと思おもいます。
わけは・・・だからです。
- わたしは**さんの考かんがえと同おなじです。
わけは・・・だからです。
- **さんの考かんがえにつけたします。
- わたしは**さんの考かんがえとちがいます。
わけは・・・だからです。
- **さんに質しつもん問します。
・・・は・・・ですか。
- ・・・のところがよくわからないので、
もう一度いちどせつめい説明してください。

声のものさし



- 0 の声：先生せんせいや友達ともだちの話はなを聞きくとき・
考かんがえるとき・書かくとき
- 1 の声：となりの人ひとと話はなすとき
- 2 の声：グループで話はなし合あうとき
- 3 の声：クラスのみんみななに話はなすとき
- 4 の声：学年がくねんのみんみななに話はなすとき

受けてつなぐ言葉

- ※「自分の言葉」を聞く。（言葉に対する自覚を育てる。言語生活の向上へとつながる。）
- まず受容することから…うなずき、相づち、復唱

「なるほど、～ですね。」

- 話型は話し方のみならず、思考の仕方の指導と捉える。…「思考の方法と言葉」との関連
 - ・感想や意見をもちながら聞く。
 - ・必要なことを記録しながら聞く。
 - ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えて聞く。

「同じです。」 「似ています。」 「賛成ですが、他にもあって～。」
「付け足します。」 「～という言葉でも表せます。」
「今までの意見をまとめると～です。私は～。」

- 同意発表…同じでもよい。繰り返し聞くことで理解が深まる。

「**さんが言ったのは、こういう意味だと思います。」

- 途中発表…途中まででもよい。互いの考えをつなげる。

「うまくまとまりませんが～。」
「～というところまで考えました。続きをお願いします。」

- 質問発表…知らないことに気づき、次の学習へつなげる。

「～というのは、どういうことですか。」（疑問点を問う。）
「それは、～ということでしょうか。」（自分の理解を確かにする。）
「私は～と考えますが、どうですか。」（自分の考えを問いかける。）

思考の方法と言葉

……教科横断的に、ただし、教科の特性や発達段階に合わせて活用

- 【何を基に（既習の知識や技能）】
- 【何に向かって（目的・課題解決）】
- 【どのように考えているか（思考の方法）】

	たどる	比べる	言い換える
聞く・話す	順序 はじめ—中—終わり	比較・分類 同じところは… 似ているところは… 違うところは… 仲間に分けると…	具体化 例えば… くわしく言うと…
書く	根拠 ～と考えられる理由は… だから～ 推論 ～のきまり（既知の原理・原則）を使うと…	対比 Aは～。それに対してBは…。	抽象化・一般化 つまり… まとめると… どれにも言えることは…
読む		類推 もし、これらと同じだとすると…	

【学びを促す言葉掛け】

<p><input type="checkbox"/>どこに注目して考えたのですか。</p> <p><input type="checkbox"/>今までの学習と、どこが関係ありそうですか。</p> <p><input type="checkbox"/>どうして……と言えるのですか。</p>	<p><input type="checkbox"/>この中で仲間になる考えはありますか。</p> <p><input type="checkbox"/>それぞれの考えのよいところはどこですか。</p> <p><input type="checkbox"/>一番よいものはどれですか。</p> <p><input type="checkbox"/>Aと比べてBの考えの方がどうだと考えますか。</p> <p><input type="checkbox"/>他の場合でも同じことが言えますか。</p>	<p><input type="checkbox"/>例えばどんなことですか。</p> <p><input type="checkbox"/>他の表し方(言葉・図・表)で説明するとどうなるでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>短くまとめると、どう言えますか。</p> <p><input type="checkbox"/>どれにも言えることはどんなことですか。</p>
--	---	---

【思考をつなぎ、可視化する手立て(例)】

思考ツール	道具	操作・記述
<ul style="list-style-type: none"> ・ベン図 ・XYチャート ・KJ法 ・座標軸 ・ピラミッド ・ウェビング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード ・付箋紙 ・シート ・譜面台 ・黒板 ・タブレット 	<ul style="list-style-type: none"> 線を引く・線で結ぶ 付箋を移動する 色を付ける 番号を付ける 矢印を付ける